



新庁舎建設特別委員会は6月30日に開催され、現在の建設進行状況などの説明ののち、現庁舎の屋上から視察しました。

【第一期工事の進捗状況】

1、免振工事（3月末～6月上旬）

・・・山留を撤去し、築造した地下1階部分の上部に免振装置を取り付け。

2、鉄骨工事（R4.6月上旬～9月下旬）

・・・免振装置を取り付け後、上部躯体を鉄骨で組上げていく。

3、内外装工事（R4.9月下旬以降）

・・・鉄骨組立後、屋根、外装、内装等を組み立てていく。

【工事現場市民見学会の開催】現在の庁舎屋上。

1、開催日 令和4年6月12日(日)

2、開催時間 午前の部 ①10時～ ②10時20分～ ③10時40分～

・募集定員を大幅に超え称え、午前の部を3回に分けて実施。

3、参加者数 112名(内、小中学生以下35名)

・個人での申し込み：14名 ・グループでの申し込み：98名(34グループ)

4、参加者からの感想や意見

- ・建築や免震について知識が無い状況で参加をした、職員の説明で免震装置の重要性について理解ができた。
- ・地震体験者で体験もあり、免震装置の効果についてより詳しく知ることができた。
- ・見学できる範囲が予想より狭かった。
- ・耐震設備ももっと近くで見学できたらいいかと思った。
- ・ウクライナ情勢により資材等が高騰する中、計画の見直しが必要と思うが、後々良い庁舎が出来たと思えるようで、かつ支出の増加も抑えながら落としどころを検討頂きたい。等々。

*現庁舎南棟は、日々音(騒音)を頂いています。窓の外に乳白の波板で壁があり見ることは出来ませんが、職員や私達議員も新しい庁舎の完成を望み耐えています。

*①1階床型枠工事 この上に鉄筋を配筋してコンクリートを流します。柱の下には、②免震装置(すべり支承)や③免震装置(積層ゴム支承)を取り付けています。

型枠工事➡①

今後は、鉄骨・上部躯体工事が9月頃まで進みます。

